

2016年の横浜港ビッグニュースを発表します

港湾局では毎年、その年の横浜港に関連したニュースを、ビッグニュースとして発表しています。

このたび、2016年のビッグニュースをまとめましたので、お知らせします。

2016年は、横浜川崎国際港湾株式会社の設立により、新たな集貨支援体制が始まるなど、横浜港の国際競争力強化に向けた取組が進みました。

また、国道357号本牧地区出口ランプの供用開始や、南本牧ふ頭への連絡道路の開通時期が平成29年3月に決まるなど、臨港道路の整備を推進しました。

さらに客船「飛鳥Ⅱ」が就航から25周年を迎え、記念セレモニーを開催したほか、観光名所と水辺・海をシームレスで結ぶ水陸両用バスを10月にグランドオープンするなど、横浜港はますます賑わいました。

横浜川崎国際港湾株式会社の設立により、 新たな集貨支援体制がスタートしました！



国際コンテナ戦略港湾政策を強力に推進するために設立した「横浜川崎国際港湾株式会社」が、国の補助金を活用した集貨支援制度を始めました。横浜港と北海道や東北を結ぶ新たな内航ルートや東南アジアとのトランシップサービスが開設されるなど、利用する船会社や荷主企業等から好評いただいた結果、前年度の2倍を上回る申請件数となりました。

水上交通の広がり ～水陸両用バスグランドオープン！キリン栈橋完成～



公募により決定した事業者「～水・陸新発見！横浜みなとまちめぐりプロジェクト～」と港湾局は、水陸両用バス社会実験の準備を進め、10月に「グランドオープン」しました。観光名所と水辺、海をシームレスに結び、横浜の街と港の多彩な景色や、非日常的な乗車体験を楽しんでいただけます。また、8月にキリンビール(株)横浜工場の護岸にキリン栈橋が完成、水上交通ネットワークに新たな拠点が加わり、回遊性強化と臨海部の活性化が図られました。

ニュースの詳細な内容と写真は、別添資料をご覧ください。

お問合せ先

港湾局賑わい振興課長

鈴木 明広 Tel 045-671-2874